

極セカイ研究所 Poler SEKAI Research Institute
〒606-8117 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-7 ニハ 2F
2F, NIHA, 24-7, Ichijoji Satonomae-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8117, JAPAN
mail:info@sekai-ken.org <https://sekai-ken.org/>

プレスリリース: 2024年7月29日

『P2P』刊行記念トークイベント

北田克治×大石侑香「極と食」を開催します。



「赤おに」の南極ビーフシチュー

北極・南極の「食」を通じて、極地での営みを考えるトークイベント。
元南極料理人と気鋭の文化人類学者が対談します！

極セカイ研究所(キョクセカイケンキュウジョ／略称: 極セ研)は、主に南極を中心とした「極域」について、人文の視点からの総合的な批評活動を行うことを目的とし、批評家の黒寄想とアートマネージャーの沢田朔が2023年8月に設立した私設組織です。極セ研では、2024年3月にこれまでの活動の成果をまとめた冊子『P2P』第0号を刊行しました。

この度、『P2P』第0号にご寄稿いただいた、元南極料理人の北田克治氏と文化人類学者の大石侑香氏をお迎えし、刊行記念のトークイベント「極と食」を開催いたします。

南極に挑む越冬隊員たちの胃袋を満たす仕事を通じて、極限下での共同生活を行う人々を見つめ続けた北田氏と、シベリアの民と彼らとともにあるトナカイの観察を通じて、人間と動物が過酷な環境の中で共生する様を観察してきた大石氏からお話をうかがい、「食」を通じて両極で生きる人間のあり方を掘り下げます。

イベント概要

イベント名 | 『P2P』刊行記念トークイベント 北田克治×大石侑香「極と食」

日時 | 2024年8月11日(日) 16:30～19:00(入場は16:00から。途中休憩あり)

会場 | MEDIA SHOP | gallery1(京都市中京区河原町三条下一筋目東入る大黒町44 VOXビル 1F)

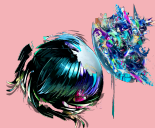
定員 | 35名(予約優先。当日空席があれば入場可)

予約 | ウェブフォームに必要事項をご記入ください: <https://forms.gle/h99VMs74uSXrpGJC9>

料金 | 2000円(当日会場にてお支払いください)

司会 | 黒寄想(極セカイ研究所所長)

ゲスト | 北田克治／大石侑香



極セカイ研究所 Poler SEKAI Research Institute
〒606-8117 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-7 ニハ 2F
2F, NIHA, 24-7, Ichijoji Satonomae-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8117, JAPAN
mail:info@sekai-ken.org <https://sekai-ken.org/>

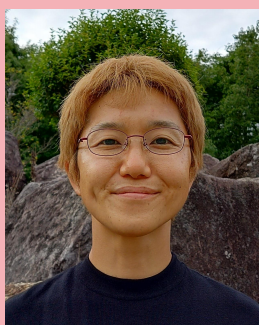
主催 | 極セカイ研究所協力 | 一般社団法人HAPS

プロフィール



北田克治 KITADA Katsuji

大阪住吉区出身。株式会社北田代表取締役。「京料理 美濃吉」、「旅館 吉川」での修行を経て、現在国際日本文化研究センター内レストラン「赤おに」店長兼料理長。1997年7月～99年3月の第38次、2003年7月～05年3月の第45次日本南極地域観測隊調理担当越冬隊として国立極地研究所へ出向した。



大石侑香 OISHI Yuka

1982年生。神戸大学大学院国際文化学研究科准教授。博士(社会人類学)。シベリア先住民を対象にトナカイ牧畜や漁撈(ぎょろう)、狩猟採集といった生業活動、毛皮のサプライチェーン、北極環境変化と社会について研究している。主著は『シベリア森林の民族誌: 漁撈牧畜複合論』(昭和堂、2023年)。



黒寄想 KUROSAKI Sou

1988年生。批評家。極セカイ研究所所長。批評誌『アーギュメント』(2015～2018年)での連載・編集をきっかけとして活動開始。音声と南極を中心的な関心とし、本誌『P2P』編集ならびに「極論」のほか、仏教音楽「声明」に関する連載「声をかく」(ウェブメディア「ちえうみ」)などがある。

撮影: 奥祐司

極セカイ研究所について

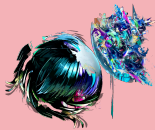
極セカイ研究所は、主に南極を中心とした極域について、専ら文化的側面からの総合的な研究・批評を行うことを目的とした私設組織です。極域をテーマとした独自の批評・論述の制作・刊行をおこなうことによって、我が国の極域にまつわる文化的事象の研究と知見の多角化に寄与することを目的とし、以下の事業を実施しています。

- 我が国が実施している極域での活動とその歴史及び発展に関する調査研究
- 我が国の文化芸術における極域の表象に関する調査研究
- 極域における文化的・芸術的実践に関する調査研究
- 極域に関する内外の芸術実践や研究機関との交流・連携
- 極域に関する資料の収集及び公開
- 上記事業の普及啓発活動
- その他、本研究所の目的を達成するために必要な事業

【沿革】

2021.3 京都・まちじゅうアートフェスティバルの一環として「光冠茶会 国際人類観測年」を開催

2023.1 国際人類観測所(仮)として活動開始



極セカイ研究所 Poler SEKAI Research Institute
〒606-8117 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-7 ニハ 2F
2F, NIHA, 24-7, Ichijoji Satonomae-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8117, JAPAN
mail:info@sekai-ken.org https://sekai-ken.org/

2023.8 組織名を「極セカイ研究所」に改称、ウェブサイトを開

2024.3 冊子『P2P』を刊行

『P2P』書誌情報



P2P(ピーツーピー)第〇号 ¥2,000(税抜) A5判136頁(カバー付)

通信販売ページ(BOOTH): <https://booth.pm/ja/items/5616657>

・目次

- 「南極の人類学」のスケッチ 森下翔(もりした しょう／文化人類学者)
南極で料理をする際の心得 北田克治(きただ かつじ／国際日本文化研究センター内レストラン「赤おに」店長兼料理長)
極論 黒寄想(くろさき そう／批評家)
極北の時空 大石侑香(おおいし ゆか／文化人類学者)
動中の動、新しき道 アレクサンドル・ポノマリョフ インタビュー(聞き手:黒寄想 通訳:鴻野わか菜)
南極ビエンナーレの未来 鴻野わか菜(こうの わかな／ロシア東欧美術・文学・文化研究)

『P2P』の詳細並びに書店様向け取り扱い条件は、下記リンクの資料をご確認ください。

<https://docs.google.com/document/d/1dtmSw-Jn030sETfKtY18nZi4Ti7FYucV0wegfJpbl6Wk/edit?usp=sharing>

本広報内容に関するお問い合わせ先

担当: 沢田朔(極セカイ研究所総務)

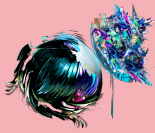
mail:info@sekai-ken.org

広報素材ダウンロード→  極と食

極セカイ研究所 Poler SEKAI Research Institute

〒606-8117 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-7 ニハ 2F

2F, NIHA, 24-7, Ichijoji Satonomae-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8117, JAPAN



極セカイ研究所 Poler SEKAI Research Institute
〒606-8117 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-7 ニハ 2F
2F, NIHA, 24-7, Ichijoji Satonomaе-cho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8117, JAPAN
mail:info@sekai-ken.org https://sekai-ken.org/

mail:info@sekai-ken.org web:<https://sekai-ken.org/>

X: https://twitter.com/Polar_sekai_ken

YouTube: <https://www.youtube.com/@kyokusekaiken>